

a ミッション	世羅町の義務教育の中軸を担い、児童も、保護者も、教職員も「世羅小でよかった」と感じる学校にする。	a ビジョン 【校訓】 夢抱き たくましく世羅を創る 【学校教育目標】 自ら考え 自ら学ぶ児童の育成
---------	--	--

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標 (3年計画)	c 短期経営目標 (単年度計画)	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
基礎学力の定着	①令和7年度までに、すべての学年が、学力調査で全国平均値を3ポイント以上上回る。 ②ICTを活用し、児童が主体的な学びをする。	一人一人の学びと意欲に応じ、個別最適な学びを実現することで、算数科の基礎・基本の学力をつける。  世羅小授業モデルをもとに、対話を通じた練習の時間を工夫することで、主体的に自分の考えを伝えようとする意欲と表現力を育成する。	①eライブラリを活用し、既習事項の反復と学び直しをする。 ②計画的に「ドリルタイム」「学びタイム」を実施し、基礎学力の定着を図る。  ①特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学びの視点から、「世羅小授業モデル」の構築を組織的に進める。 ②ICTを活用した課題提示や練習の活動を工夫する。	① 100% 10学級 ② 90%										
	①互いを大切に、ルールを守る児童にする。 ②自己肯定感を高める積極的な生徒指導で児童を育てる。	友達や先生を大切にするために、決まりを守る児童を育てる。  自分や他者を大切に、尊重できるようにするために、自己肯定感や自尊心を高める。	①学校のルールやマナーについて、その内容だけでなく、意味やそれを守る意義を年間通して繰り返し考えさせる。 ②決まりを守る態度を、全職員で年間を通じて認めてほめ、良い態度を波及させていく。  「ほめて、認めて、励ます」積極的な生徒指導を意識して継続する。	○児童アンケートの肯定的回答（児童評価・職員評価） ①「学校のルールを守ろうとしている」 ②「人を大切にしている」  ○児童アンケートの肯定的回答（児童評価・職員評価） ①「自分にはいいところがある」 ②「自分は集団の中で大切にされている」	① 90% ② 90%									
たくましい心と体の育成	主体的に健康づくりと体力づくりをする児童を育てる。	バランスの取れた体力づくりに向けて、一人一人が目標を持って取り組む	①本校の課題である「走力」について、各学年の県平均と児童一人一人に前年度の自己記録を提示することで、県平均更新と自己記録更新への意欲を高める。 ②走力の向上につながる運動を体育科の授業の導入や家庭学習で取組ませる。	① 70% ② 80%										
働き方改革の実現	業務改善と、教育の質の確保を両立させる。	働き方改革によって、授業等の質を高めることで、一人一人の児童が安心して伸び伸びと力が発揮でき、保護者が行かせたいと思える学校を創る	週時程を工夫し、児童と向き合う時間や放課後の時間を確保することで、児童理解や教材研究、分掌の仕事を行う時間において、授業や活動の質を高める。	80%										

【自己評価 評価】  
A：100≦（目標達成） B：80≦（ほぼ達成）<100 C：60≦（もう少し）<80 D：（できていない）<60